

安全データシート

アルコゾールNP-5

製品名:

作成日: 2019年 8月 1日
改訂日: 2024年 6月 14日
確認日: 年 月 日

【整理番号: 2032 /GHS. Ver- 3】

1. 化学品及び会社情報

製品の名称: アルコゾールNP-5
会社名: 甘糟化学産業株式会社
住所: 東京都千代田区神田西福田町3番地
電話番号(緊急): 品質統括部 03-6632-3006 (平日 9:00~17:00)
FAX番号: 03-6632-2828
E-mail: 品質統括部 q-m@amakasu-chem.co.jp
推奨用途: 溶剤
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分2
自己発熱性化学品 分類できない
金属腐食性化学品 分類できない

健康有害性

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分2
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 区分1A(経口摂取の場合)
生殖毒性 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(中枢神経系、全身毒性)
区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)
区分2(神経系、血液系)
誤えん有害性 分類できない

環境有害性

オゾン層への有害性 分類できない

他の項目はSDS作成時に得られた情報では区分に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
発がんのおそれ(経口摂取の場合)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、全身毒性の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害
長期にわたる又は反復ばく露による神経系、血液系の障害のおそれ

危険

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 換気の良い場所で使用すること。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 皮膚を流水(又はシャワー)で洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する場合には洗濯をすること。
 火災の場合：消火するために適切な消火器を使用すること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

換気の良い涼しい場所で密閉保管する。
 施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

| 化学名又は一般名 | 別名 | 化学物質を特定できる一般的な番号 | | | 濃度又は濃度範囲 (wt%) |
|-------------|--------------|------------------|----------|-----------|----------------|
| | | CAS番号 | 官報公示整理番号 | | |
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| エタノール | エチルアルコール | 64-17-5 | (2)-202 | 既存 | 86.5 |
| イソプロピルアルコール | IPA、2-プロパノール | 67-63-0 | (2)-207 | 2-(8)-319 | 5.5 |
| メチルエチルケトン | MEK、2-ブタン | 78-93-3 | (2)-542 | 既存 | 1.5 |
| 精製水 | - | - | - | - | 6.5 |

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、全ての汚染された衣類を取り去ること。
 多量の石鹸と水で優しく洗うこと。
 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

揮発性で引火しやすい液体及び蒸気

特有の消火方法

火災場所周辺に関係者以外の立入を禁止する。

危険でなければ火災区域から移動可能な容器を移動する。

移動不可能な容器及び周辺の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護具及び予防措置

呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、河川等に排出、環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏洩を止める。

漏出液は密閉できる空容器に回収する。

残留液は砂や不燃材料に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

静電気対策のため装置、機器等の接地を確実にを行う。

安全取扱注意事項

局所排気、全体換気を行う。

高温物、スパーク、火気の使用を禁止。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用すること。

容器を密閉し、転倒、落下、衝撃を加える取扱いはしないこと。

混触回避

「10.安定性及び反応性」を参照する。

衛生対策

この製品を使用するときは飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

着火源から離して保管すること。

直射日光を避け、換気のよい涼しい場所で密閉保管すること。

酸化剤から離して保管すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

| | 許容濃度 | | 管理濃度 |
|-------------|-----------------|-----------------------------|--------|
| | 日本産業衛生学会(2020年) | ACGIH(TLV) | |
| エタノール | 設定なし | 1000ppm(STEL) | 設定なし |
| イソプロピルアルコール | 400ppm | 200ppm(TWA) 400ppm(STEL) | 200ppm |
| メチルエチルケトン | 200ppm | 200ppm(TWA) 300ppm(STEL) | 200ppm |

設備対策

静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。
排気装置を設置し、蒸気が滞留しないようにする。
取扱い場所の周囲には高温、発火源となるものを設置しない。

保護具

| | |
|------------|---------------|
| 呼吸用の保護具 | 保護マスク、呼吸器用保護具 |
| 手の保護具 | 保護手袋 |
| 眼及び顔面の保護具 | 保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|-------------|
| 物理状態: | 液体 |
| 色: | 無色透明 |
| 臭い: | 特有の芳香 |
| 融点・凝固点: | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲: | データなし |
| 可燃性: | 着火源があると発火する |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界: | データなし |
| 引火点: | データなし |
| 自然発火点: | データなし |
| 分解温度: | データなし |
| pH: | 特定の数値を有しない |
| 動粘性率: | データなし |
| 溶解度: | 水、エーテルに可溶 |
| n-オクタノール/水分配係数(log値): | データなし |
| 蒸気圧: | データなし |
| 比重: | データなし |
| 相対ガス密度: | データなし |
| 粒子特性: | 非該当 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------------|
| 反応性 | データなし |
| 化学的安定性 | 通常の手扱いで安定 |
| 危険有害反応可能性 | 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす |
| 避けるべき条件 | 高温、静電気、燃焼 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 有害なガス(一酸化炭素など)を生じる |

11. 有害性情報

急性毒性

経口: エタノール・ラット LD50=6200mg/kg、IPA・ラット LD50 4384mg/kg、
MEK・ラット LD50 2737mg/kg 計算結果より区分に該当しない
経皮: エタノール・ウサギ LDLo= 20,000 mg/kg、IPA・ウサギLD50=12,870 mg/kg、
MEK・ウサギ LD50 >5000mg/kg 計算結果より区分に該当しない
吸入・蒸気: エタノール・ラットLC50=63,000 ppmV、IPA・ラットLC50(4h)=68.5 mg/L、
MEK・ラット LC50(4h)=11700ppm 計算結果より区分に該当しない
吸入・ミスト: エタノール・分類できない、IPA・分類できない、MEK・分類できない より
毒性未知成分が0.1%以上 /分類できない

皮膚腐食性・刺激性

エタノール・区分に該当しない、IPA・区分に該当しない、MEK・区分2
 加方式の区分3から対象国危険有害性区分補正処理により変更 / 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性

エタノール・区分2B、IPA・区分2、MEK・区分2A より 区分2を濃度限界10%以上含有 / 区分2A

呼吸器感作性

エタノール・分類できない、IPA・分類できない、MEK・分類できない /分類できない

皮膚感作性

エタノール・分類できない、IPA・分類できない、MEK・分類できない /分類できない

生殖細胞変異原性

エタノール・分類できない、IPA・分類できない、MEK・分類できない より

毒性未知成分を含有 / 分類できない

発がん性
 エタノール・区分1A(経口摂取の場合)、IPA・分類できない、MEK・分類できない
 区分1Aを濃度限界0.1%以上含有 / 区分1A(経口摂取の場合)

生殖毒性
 エタノール・区分1A、IPA・区分2、MEK・分類できない より
 区分1Aを濃度限界0.3%以上含有 / 区分1A

特定標的臓器毒性-単回ばく露
 エタノール・区分3(気道刺激性、麻酔作用)、
 IPA・区分1(中枢神経系、全身毒性)、区分3(気道刺激性)
 MEK・区分2(腎臓)、区分3(気道刺激性、麻酔作用) より
 / 区分2(中枢神経系、全身毒性)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性-反復ばく露
 エタノール・区分1(肝臓) 区分2(中枢神経系)、
 IPA・区分1(血液系)、区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)
 MEK・区分1(神経系) より 混合成分の濃度限界から区分した。
 / 区分1(肝臓)、区分2(血液系、神経系)

誤えん有害性
 エタノール・分類できない、IPA・分類できない、MEK・分類できない より
 動粘性率が不明/分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

製品としての情報はなし

| | 水生環境有害性 | |
|-------------|-------------------------------------|--|
| | 短期(急性) | 長期(慢性) |
| エタノール | 甲殻類(オオミジンコ) 48h EC50=5463mg/L | 甲殻類(ニセネコゼミジンコ属の一種) 10day NOEC=9.6mg/L |
| イソプロピルアルコール | 甲殻類(オオミジンコ) 48h EC50 > 1000 mg/L | 甲殻類(オオミジンコ) 21day NOEC > 100 mg/L |
| メチルエチルケトン | 甲殻類(オオミジンコ) 48h LC50 > 1000 mg/L | 藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 72h NOEC = 93mg/L |

残留性・分解性

エタノール・急速分解性あり(BOD 分解度:89%)
 IPA・急速分解性あり(BOD 分解度86%)
 MEK・難水溶性ではない。急速分解性あり(20day BOD 分解度:89%)

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号: 1987
 品名: アルコール、N.O.S
 海上規制情報(IMDG)

国連分類: クラス3
 容器等級: II
 海洋汚染物質: 非該当

航空規制情報(IATA)

国連分類: クラス3
 容器等級: II

国内規制

陸上規制情報: 消防法、安衛法、などに定められている運送方法に従う
 海上規制情報: 船舶安全法に定められている運送方法に従う
 航空規制情報: 航空法に定められている運送方法に従う

輸送に関する特別の安全対策: 情報なし
 緊急時応急措置指針番号: 127

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令別表第1危険物(引火性の物) *1
 施行令第18条[名称等を表示すべき危険物及び有害物] *1
 施行令第18条の2[名称等を通知すべき危険物及び有害物] *1
 有機溶剤中毒予防規則 第1条第1項第4号[第2種有機溶剤等] *1
 規則第594条の2[皮膚等障害化学物質等 不浸透性保護具等の使用義務物質(MEK)]

消防法

第4類アルコール類(水溶性、指定数量:400L)

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

優先評価化学物質(IPA)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当せず

船舶安全法

危規則第3条危険物等級3 引火性液体類

海洋汚染防止法

施行令別表第1 有害である物質 (Z類)

航空法

施行規則第194条危険物 引火性液体

その他、地方自治体における条例等の対象となる場合があります。
 所管の行政機関にご確認下さい。

16. その他の情報

化学物質関連情報(NITE-CHRIP) (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
 国際化学物質安全情報カード・日本語版(ICSC) (国立医薬品食品衛生研究所)
 17524 の化学商品 (化学工業日報社)
 危険物輸送に関する勧告/英和对訳 (化学工業日報社)
 GHSモデルSDS情報 (厚生労働省 職場のあんぜんサイト)
 ERG2016版 緊急時応急措置指針 (社団法人 日本化学工業協会)
 JIS Z7252: GHSに基づく化学品の分類方法
 JIS Z7253: GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

- ※ このシートは新しい情報に基づき予告なく改訂することがあります。
 ※ このシートに記載されている情報は、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 化学品には未確認の有害性、危険性の存在があり得ますので、取扱いの際には細心の注意が必要です。
 ※ 本品の使用に際して、その適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。
 ※ 適用法令はシート発行後に新たに制定・改定されている場合もありますので、使用に際しての規制等の確認は使用者において行ってください。

【MEMO】

- *1 2026年4月1日施行の対象物質を含む
 *2 化管法・改正政令によりPRTRの対象物質が変更され、2024(令和6)年度届出分から適用される化学物質を含む。

製品に関するご質問は以下の事業所までお問い合わせください。

| | | | | |
|-------|-------------|---|--------------|--|
| 東京本店 | 営業一部（エタノール） | ： | 03-6632-3021 | info@amakasu-chem.co.jp |
| | 営業二部（シンナー） | ： | 03-6632-3022 | |
| 大阪支店 | | ： | 06-6201-2812 | osaka@amakasu-chem.co.jp |
| 名古屋支店 | | ： | 052-211-3765 | nagoya@amakasu-chem.co.jp |
| 北海道支店 | | ： | 0134-62-0051 | hokaido@amakasu-chem.co.jp |